



地学と
切手

上信越高原国立公園

堀内 恵彦

本州中央部の群馬・長野・新潟の三県に広がる 平均1500m級の高原地帯で 群馬・新潟県境の谷川岳から群馬・長野県境の浅間山に達する区域と 新潟・長野県境の妙高・戸隠連峯区域の二地区 総面積1889.15km²の地域で 昭和24年9月7日に国立公園に指定されました。

上信越区域は谷川・苗場・岩菅・白根・浅間の各山とそれに連なる高峯が利根・信濃の両水系の境界として続いており 妙高戸隠区域は中小火山の群集によってできています。これらの山嶺部には高山植物群やハイマツ シヤクナゲ等のある高山景観で 雷鳥・カモシカなどもみられます。とくに谷川岳の岩壁 沼沢地が樹林中に点在する苗場山 いおうの蒸気を噴出する白根山頂 相次ぐ大噴火に火山噴出物による奇観を呈する浅間山



複式火山の妙高山などは すぐれた景観です。これらの火山の間に 志賀・菅平・軽井沢・野反池・戸隠等の高原が散在し とくに志賀高原・野反池のミズバショウ・モウセンゴケ等の 湿原植物群は美しく 浅間山のツツジの群落は特長があります。高山ちようは多種類が生息しサンショウウオ等も生息しています。

溪谷としては 苗場山麓の清津峡が柱状節理の岩壁を連ねており 新緑や紅葉の名所となっております。この地域はまた温泉が豊富で 水上 湯曾曾 湯沢 谷川 猿が京 法師 四万 河原湯 花敷 草津 などの上越地区 山田 熊の湯 発喃 渋 湯田中などの山の内温泉郷 燕 関 赤倉 妙高などの妙高地区等多数あり 四季を通じてのレクリエーション地として好適です

切手は第一回が29年6月25日に 5円(浅間山) 10円(谷川岳)の2種。 本年3月15日 5円(清津峡) 10円(野尻湖)が発行されました。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)

書 評

理学 岩石事典

理学博士 柴田 勇 編
技術士

本書は 岩石学(岩石の種類・成因・組織・初生構造等に関するもの) 岩石物理学(岩石の物性・熱・電気・磁気・放射性等に関するもの) 岩石化学(岩石の化学組成・溶解・風化等に関するもの) 岩石工学(岩石の工学的性 次生構造・岩石工事・変災等に関するもの) 有用岩石(工業用岩石・非工業用岩石・石材・砂礫・土壌等に関するもの) など 岩石の自然科学的ならびに 応用方面に関する諸種の事項を集録 これに簡単な説明と資料を付したものを第1部とし 岩石の組成・分類・識別法などに関する記述 および石材 その他有用岩石に関する資料を 第2部として編集されている。

本書に集録された事項の範囲 説明の程度 資料の内容等は 岩石学を参考科目として学習する理科 ならび

に工科の学生・および岩石の一般知識を必要とする採鉱・採石・土木・建築などの技術者を おもな対象として 選択されている。

近年 わが国の経済の発展に伴って 建設工業ならびに製造工業の方面で 岩石の利用・開発が盛んとなったとき このような岩石に関する 理学的・工学的な諸データを多く集めた本書が発刊されたことは 地下資源関係および建設関係の技術者・研究者のために よろこばしいことである。

発行 白亜書房
定価 900円

